※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学スーパー演習（文）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A、数学Ⅱ＋B、数学Ｃ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、1 年次に学んだ理数数学Ⅰの内容と、並行して学習している理数数学Ⅱの内容についての発展的な問題演習を行います。その際、ペアワークやグループワークも取り入れ、他者と協力しながら問題を解いてもらい、発表してもらうこともあります。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

２　学習の到達目標

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ【数列・統計的な推測】、数学Ｃ【平面上のベクトル・空間のベクトル】の内容について、発展的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現する力を身に付けさせる。さらに、数学に関する事象や課題に向き合うことで、他者と共同しながら課題の解決に積極的に挑戦しようとする態度を身に付けさせる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ【数列・統計的な推測】、数学Ｃ【平面上のベクトル・空間のベクトル】の内容において、発展的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ【数列・統計的な推測】、数学Ｃ【平面上のベクトル・空間のベクトル】の内容において、事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａ、数学Ｂ【数列・統計的な推測】、数学Ｃ【平面上のベクトル・空間のベクトル】の内容における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学Ⅰ・A	数学Ⅰ（数と式・集合と命題・2次関数・図形と計量・データの分析）と数学Ａ（場合の数と確率・図形の性質・数学と人間の活動）についての総合演習	a：基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、事象を表現・処理する技能を身につけている。 b：事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c：学習内容に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	小テスト 提出課題	小テスト 提出課題	提出課題 観察
二学期	数学Ⅱ・B・C	数学Ⅱ（式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数関数と対数関数）と数学 Ｂ（数列・統計的な推測）と数学 Ｃ（平面上のベクトル）についての総合演習				
三学期	数学Ⅱ・C	数学Ⅱ（微分法と積分法）と数学Ｃ（空間のベクトル）についての演習				

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度